

CX  
プレス懇親会を開催

キャセイパシフィック航空(CX)は1月15日、都内においてプレス懇親会を開催した。クラレンス・タイCX日本支社長(写真右)は冒頭の挨拶で、「2012年はCXにとって厳しい一年でした。そんな中、CXは日本/香港間で運航する週120便以上のフライトを維持してきました。これからもCXは日本のお客様に喜ばれるプロダクトやサービスの向上を図ってまいります」と述べた。

その後、CX日本支社営業本部長のジェームズ・エバンズ氏(写真左)によりCXの最新ホットニュースとして、懇親会翌日の1月16日から5日間限定で実施された「新春特別運賃セール」の概要が紹介された。日本発香港往復が20,000円、台北往復18,000円、東南アジア往復25,000円という、通常最も低価格の「エコ得5」より最大68%割引というもの(燃油サーチャージなど諸費用は別途必要)。エバンズ営業本部長は、「今回のセールで日本の旅行者の皆様はCXのホームタウンである香港はもとより、台北および香港以遠の東南アジアという魅力ある数々の都市を、ぜひこの機会に体験してください」とアピールした。

KA  
香港⇄ダナン線を開設

香港ドラゴン航空(KA)は、香港(HKG)⇄ダナン(DAD)線を週3便体制で2013年3月28日に運航開始すると発表した(政府認可申請中)。これにより、アジア地域内の運航ネットワークが強化され、ベトナムを発着する旅客に幅広い選択肢と利便性がもたらされる。

ベトナムにおける就航都市としては2番目、KAは現在、週10便体制でHKG⇄ハノイ線を運航。姉妹航空のキャセイパ

シフィック航空(CX)は、HKG⇄ホーチミン線を週16便体制で運航している。

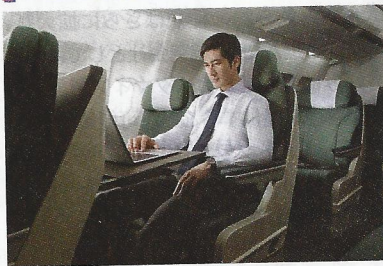
名高いダナンビーチを含む美しい海岸線で知られるダナンは、ホイアン、ミーソン、フエの3つの世界遺産へのアクセスにも便利。HKG⇄DAD線のスケジュールは以下の通り。

●KA220便(木日)/HKG08:00発⇒DAD08:55着、(火)/HKG15:50発⇒DAD16:50着

●KA221便(木)/DAD09:50発⇒HKG12:50着、(日)/DAD10:05発⇒HKG13:05着、(火)/DAD19:05発⇒HKG22:05着

※オンライン予約サービスは間もなく開始される。詳しくはKA予約・発券センター(0120-46-3838)もしくは最寄りの旅行代理店まで。

## 将来的な路線拡張・発展に備えた機内全面改装を発表



KAは2005年以来の大規模な改装となる新プロダクトの全容を明らかにした。

KAでは、新ビジネスクラス及び新エコノミークラスの導入とともに、新開発のエンターテインメントシステムStudioKAを採用した。

KAの新ビジネスクラスと新エコノミークラスは、姉妹航空のキャセイパシフィック航空の中・近距離路線用新ビジネスクラスと長距離路線用新エコノミークラスのプロダクトと同様のデザインを採用している。

新しいクラスには解像度の高いタッチパネルのワイドスクリーンとオン・デマンド機能を備えたエンターテインメントシステムStudioKAも採用。新ビジネスクラスには12.1インチ、新エコノミークラスには9インチのワイドスクリーンが各座席に配備されている。

新座席と新エンターテインメントシステムの導入に加え、3月からは新ビジネス

クラスと新エコノミークラスの機内食サービスの食器も一新される。

シカゴ観光局  
日本事務局を開設、記者会見を行う

シカゴ観光局は2012年8月、日本における観光促進の拠点として日本事務局の開設を決定、2013年1月より本格的に活動を開始した。2月5日には、シカゴ観光局社長兼CEOのドン・ウォルシュ氏(写真中)が来日し、記者会見を行った。

シカゴ観光局では、新しく就任したシカゴ市長の方針もあり、2020年をメドにシカゴへの国内外からの年間旅行者数を5千万人に延ばすことを目標としている。2011年のデータとして、シカゴを訪れた日本人旅行者数は約88,000人。米国全体のインバウンドマーケットとして日本は年間300万人が訪れ、世界で2番目の数字となっているため、ウォルシュCEOは「日本は今までも重要なマーケットの位置づけであり、海外事務局を開設するのは当然の結果。これからは日本を含め、世界中にシカゴの良さを発信していきたい」と述べた。

シカゴは、ボーイング社やマクドナルドなど世界的な企業が本社を置く大都市でありながら、歴史的建造物や緑の多公園や美術館、博物館が点在する町。質の高いレストランや音楽(ジャズ、ブルース)、スポーツ観戦(メジャーリーグNBAなど)などエンターテインメントも充実しており、医療・化学関係など数多くトレードショーが開催されている。

今後、シカゴ観光局の日本事務局では、レジャーおよび会議やトレードショー、ビジネス目的の渡航を対象にブラッキングを含めたマーケティング活動、セールス、広報宣伝活動を強化して、日本語ホームページ([www.choosechicago.jp/](http://www.choosechicago.jp/))も開設している。